

# P D C A チェックシート (平成 25 年度実績評価)

事業概要							担当局	危機管理室	
							担当課	危機管理課	
							課長名	正代	
事業名	防災訓練の実施						施策番号		II - 1 - (4) - ①
							事業概要	風水害、地震等の大災害時における防災体制について万全を期すため、災害に対する各種訓練を実施します。	
コスト	事業費	25年度当初予算額	25年度執行額	(事業費備考)	人件費	目安の金額		課長 0.20 人	
	10,683 千円	11,861 千円	5,800 千円	係長 0.20 人		職員 0.20 人	(人件費備考)		

## 【Action】改善

課題	H23年度の評価結果を受けての課題	防災訓練の実施回数等については順調に推移していますが、災害時の対応能力を強化するためには、今後も継続して様々な訓練を実施していく必要があります。	見直し内容	実効性のある防災訓練という視点から、実働訓練だけでなく図上訓練も実施する等訓練のあり方や手法について検討し、併せて費用の削減を図ります。
----	-------------------	--	-------	--

## 【Plan】計画

## 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	対象(誰を、何を)	目指す状態(どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか)		成果の状況	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック	大変順調
	市及び市民等の災害対応能力	市における防災体制の充実、関係機関との連携、市民の防災意識の高揚及び災害対応能力の向上を図ります。				
代表的な成果指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	上段:23年度実績 下段:24年度実績	25年度目標	25年度実績 (達成率)	成果の状況 評価理由	
	防災訓練参加人数	2,523 人	2,240 人	3,471 人	市民や防災関係機関等と調整を行い、実施できているため。	
	上記目的を達成するために、より多くの方々に防災訓練に参加してもらうため、参加人数を成果指標とします。(1訓練につき280名。※H23年度実績)	3,058 人		155.0 %		
	(最終目標と目標年度)					
本事業の継続的な実施						
	(最終目標と目標年度)			%		

活動計画	どうやって目的を達成するか	区防災訓練6回、市総合防災訓練1回、宿泊型避難所体験・運営訓練1回の合計8回の訓練を実施します。 (平成25年度から、1区において宿泊型避難所体験・運営訓練を区防災訓練として実施。)	活動の状況	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	大変順調
	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	上段:23年度実績 下段:24年度実績		25年度目標	
活動指標	防災訓練実施回数	9 回	8 回	8 回	市民や防災関係機関等と調整を行い、実施できているため。
	上記のとおり、年間8回の訓練を実施します。(荒天等による中止の場合は、事前準備で地域と調整を図っているため、訓練を実施したものとして計上)	9 回		100.0 %	
				%	

## 【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点	訓練を通して市や地域の強み・弱みを把握できたことは、大変有効であり、地域住民にとっては、防災意識の高揚につながったと考えます。さらに、関係機関との連携も強化されることから、訓練を実施できたことは、大変効果があったと考えます。
	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を)の分析 ※民間活力導入の視点	平成25年度の市総合防災訓練では、災害対策本部の体制強化を目的とした図上訓練を、総務省消防庁の「平成25年度消防防災科学技術推進制度」の研究費を活用して実施しました。また訓練のあり方や手法について改良を重ねており、経済性・効率性ともに高いと考えます。

# P D C A チェックシート (平成 25 年度実績評価)

<b>事業概要</b>				担当局	危機管理室			
				担当課	危機管理課			
<b>事業名</b> 防災行政無線高度化事業				課長名	正代			
				施策番号		II - 1 - (4) - ②		
<b>事業概要</b> 災害時における避難勧告などの防災情報は、テレビやラジオ、ホームページ、携帯電話の防災メール・緊急速報メール、Twitter、消防車の巡回などにより市民の皆さんへ伝達しています。さらに、津波情報等を効果的に伝達するために、地域住民に一齐に通報が可能で、災害に強い情報伝達手段である同報系防災行政無線(住民に災害情報などの放送を行う防災スピーカー)の整備を行うものです				<b>事業手法</b> <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他 ( )				
コスト	事業費	25年度当初予算額 145,200 千円	25年度執行額 666 千円	(事業費備考)	人件費	目安の金額 6,150 千円	課長 0.10 人 係長 0.20 人 職員 0.40 人	(人件費備考)

## 【Action】改善

課題	H23年度の評価結果を受けての課題 同報系防災行政無線の整備が遅れることで、津波情報等を地域住民に効果的に伝達できなくなることが課題であり、計画に基づく早期整備の必要があります。	見直し内容	平成26年9月の基礎整備完了に向け、遅滞のないよう工事の進捗を管理します。
----	--	-------	---------------------------------------

## 【Plan】計画

## 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	対象(誰を、何を) 災害情報	目指す状態(どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか) 住民に津波情報や避難勧告等の防災情報を迅速かつ的確に伝達できる状態を目指します。	成果の状況	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック	-
代表的な成果指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	上段:23年度実績 下段:24年度実績	25年度目標	25年度実績(達成率)	成果の状況 評価理由
	住民に津波情報や避難勧告等の防災情報を迅速かつ的確に伝達できる状態 門司区、小倉南区の沿岸部等に防災行政無線を整備することで、災害時に迅速に情報伝達できる状態を目指します。 (最終目標と目標年度) 平成26年度		—	—	%
	(最終目標と目標年度)			%	

活動計画	どうやって目的を達成するか 東日本大震災を受け、屋外で他に伝達手段がなく、また予兆を掴み難く、広報する暇のない津波等突発災害の対応を第一に考え、防災スピーカーの整備を実施することとしました。	活動の状況	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	順調	
活動指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	上段:23年度実績 下段:24年度実績	25年度目標	25年度実績(達成率)	活動の状況 評価理由
	整備工事の実施 地域住民に津波情報を効果的に伝達することを第一に考え、同報系防災行政無線の整備工事を行います。		整備工事着手	工事着手	%
				%	

## 【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点	平成25年度、整備工事に着手しました。平成26年度の基礎工事完了に向け、活動は順調と考えます。
	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を)の分析 ※民間活力導入の視点	「経済性・効率性」を得られるように、工事を進めていきます。

# P D C A チェックシート (平成 25 年度実績評価)

<b>事業概要</b>					担当局	危機管理室	
					担当課	危機管理課	
<b>事業名</b> みんな de Bousai まちづくり推進事業					課長名	竹光	
					施策番号		II - 1 - (4) - ②
<b>事業概要</b> 過去の大規模災害では、自助・共助の力を向上させることが「減災」対策を推進する上でも必要不可欠であることが証明されました。また、「北九州市地域防災計画見直し検討会」の中でも、地域コミュニティが持つ防災力＝「地域防災力」の重要性が指摘されました。これらのことから、市民が自ら「命を守りぬく」ことができる自助・共助の力を向上させるとともに、地域防災力の育成及び活性化を推進します。	<b>事業手法</b> <input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
			<b>コスト</b> 事業費	25年度当初予算額 4,500 千円	25年度執行額 5,672 千円	(事業費備考)	人件費

## 【Action】改善

<b>課題</b> H23年度の評価結果を受けての課題	市民が自ら「命を守りぬく」ことができる自助・共助の力を向上させる必要があります。	<b>見直し内容</b> 本市防災アドバイザーの片田教授を座長に、有識者や市民代表、大学生などにより構成される「みんな de Bousai まちづくり懇話会」を設置するとともに、各区において、自治総連合会、地域の企業、商店街、障害者、外国人など、多様な市民が参加し、意見交換を行う「みんな de Bousai まちづくり車座集會」を開催します。
--------------------------------	--	---

## 【Plan】計画

## 【Do】実施 → 【Check】評価

<b>目的</b> 市民	<b>対象</b> (誰を、何を)	<b>目指す状態</b> (どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか)		<b>成果の状況</b> 代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック	大変順調
		市民が自ら「命を守りぬく」ことができる自助・共助の力を向上させるとともに、地域防災力の育成及び活性化を目指します。			
<b>代表的な成果指標</b>  (最終目標と目標年度)	<b>指標</b> (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	上段:23年度実績 下段:24年度実績	<b>25年度目標</b>	<b>25年度実績(達成率)</b>	<b>成果の状況評価理由</b>
	地域防災の問題や課題の整理	-	-	-	地域防災の問題や課題を整理し、H26年度以降の事業に反映することができるため「大変順調」としました。
	市民が自ら「命を守りぬく」ことができる自助・共助の力を向上させるとともに、地域防災力の育成及び活性化を推進するため、地域防災の問題や課題の整理を指標としました。	-	-	%	
	(最終目標と目標年度)	-	-	%	

<b>活動計画</b> どうやって目的を達成するか	地域防災力の向上を目的として、本市防災アドバイザーの片田教授を座長に、有識者や市民代表、大学生などにより構成される「みんな de Bousai まちづくり懇話会」を設置します。また、各区において、自治総連合会、民生委員、PTA、地域の企業、商店街、介護事業者、障害者、外国人など、多様な市民が参加し、地域防災の課題や取り組みについて意見交換を行う「みんな de Bousai まちづくり車座集會」を開催します。	<b>活動の状況</b> 活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	大変順調		
	<b>指標</b> (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)			上段:23年度実績 下段:24年度実績	<b>25年度目標</b>
<b>活動指標</b>	「みんな de Bousai まちづくり懇話会」の開催回数	-	3 回	3 回	「みんな de Bousai まちづくり懇話会」を3回開催するとともに、「みんな de Bousai まちづくり車座集會」では、794人も住民が参加したことから、「大変順調」としました。
	住民が自ら「命を守り抜く」ことができる自助・共助の力を向上させるとともに、地域防災力の育成及び活性化を推進するため、「みんな de Bousai まちづくり懇話会」の開催回数を指標としました。	-	3 回	100.0 %	
	「みんな de Bousai まちづくり車座集會」の参加人数	-	700 人	794 人	
	地域の防災対策や住民・地域主体の防災に視点をいたまちづくりを進めるため、「みんな de Bousai まちづくり車座集會」の参加人数を指標としました。	-	700 人	113.4 %	

## 【Check】評価(分析)

<b>分析及び課題の整理</b>	<b>【成果の状況】</b> <b>【活動の状況】</b> を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点	「みんな de Bousai まちづくり懇話会」を3回開催するとともに、「みんな de Bousai まちづくり車座集會」を各区1回ずつ(計7回)開催するなど、順調に地域防災力の育成及び活性化を推進しています。
	<b>「経済性」</b> (同成果を低コストで) <b>「効率性」</b> (同コストで高成果を)の分析 ※民間活力導入の視点	今後は、「経済性」や「効率性」に留意しながら事業展開を行っていきます。